

令和7年7月臨時会 提案説明要旨

(はじめに)

令和7年7月関西広域連合議会臨時会の開会に当たり、議員の皆様にご敬意と感謝を申し上げます。

本日退任されました奥村前議長の1年間のご尽力に対し、心からお礼を申し上げます。また、新たに就任されました渡辺議長には、第16代議長へのご就任を心からお喜び申し上げます。

去る4月15日、岸本周平・前和歌山県知事がご逝去されました。謹んで哀悼の意を表し、衷心よりご冥福をお祈り申し上げます。岸本前知事には、広域農林水産振興担当委員及び広域職員研修担当委員として、関西広域連合の発展に多大なご尽力をいただきました。関西の発展を願い、苦楽を共にした盟友を失った悲しみは未だ癒えませんが、広域行政を牽引するリーダーとして活躍された尊いご遺志を、新たに和歌山県知事に就任された宮崎委員と共に、しっかりと受け継いでまいります。

大阪・関西万博の開幕から、まもなく3ヶ月です。参加する国・地域等のナショナルデーが連日開催され、賓客を含め、世界中の人々が会場を訪れています。関西広域連合と令和元年10月に観光分野での連携協力に関する覚書を交わしているイル・ド・フランス州のヴァレリー・ペクレス議長も来日され、去る5月14日には滋賀県において、今後の両者の協力関係の発展に向け有意義な話し合いを行い、スタートアップに係る連携を進めること、また今後新たな連携協定の締結も視野に調整を進めることを決めました。

さて、手続きを進めておりました関西広域連合規約の変更について、6月26日に総務大臣の許可がありました。これを受け、これまで1人であった副広域連合長を3人とし、先程、吉村委員と久元委員のお二人を、新たに副広域連合長に選任いたしました。新体制のもと、関西全体で広域行政を担う力を更に高め、関西から新たな時代を切り拓いてまいりたいと思います。

議員各位のご指導、ご協力をよろしくお願いいたします。

それでは、提案理由の説明に先立ち、3月定例会以降の主な取組についてご報告します。

(大阪・関西万博)

第1は、大阪・関西万博の取組です。

総来場者数は6月29日までに1,000万人を突破しており、会期が進むに

つれて来場者も増えております。

4月9日に、渡辺議長にもご臨席をいただき、関西パビリオン開館式を執り行いました。万博開幕以降も、ルクセンブルク大公国首相やタイ王国大臣による視察、彬子女王殿下のお成りなど、国内外から多くの賓客に関西パビリオンをご訪問いただいております。

5月6日には、岸本前和歌山県知事への弔意を表すとともに、関西パビリオンのPRを行うため、私や連合委員が参加して、和歌山県の催事等を盛り上げました。

さらに、開幕74日目となる6月25日には、パビリオンの来館者数50万人を達成し、記念セレモニーを開催しました。引き続き、より多くの皆様にご来館をいただき、心から満足をいただけるよう取り組んでまいります。

(広域防災の推進)

第2は、広域防災の推進です。

本年3月末に、国から南海トラフ地震の新たな被害想定が発表されました。想定死者数は、国全体で最大約30万人、関西広域連合管内では約12万人であり、社会全体での防災意識の醸成、インフラの強靱化や家屋の耐震化等による被害の絶対量低減、そして被災者の生活環境整備の取組などが必要とされています。

関西広域連合では、南海トラフ地震への備えを更に進めるため、4月に、官民が連携して取り組む帰宅困難者対策の総合的な方針を示す「関西広域帰宅困難者等対策ガイドライン」を改訂しました。さらに、昨年度に引き続き、「関西防災・減災プラン」を見直します。

また、これまで関西広域連合として長く創設を要望してきた防災庁について、6月に決定された国の「骨太方針」でその概要が示されるなど、令和8年度中の設置に向けた動きが加速しています。1月22日に、内閣府副大臣に対し、創設に係る要望を行ったところであり、関西への拠点設置に向け、引き続き構成府県市や経済団体とも連携し、国への働きかけ等を進めてまいります。

(広域スポーツの振興)

第3は、広域スポーツの振興です。

5月に台湾で「ワールドマスターズゲームズ2025」が開催され、107の国と地域から、2万5千人以上の選手が参加し、熱戦が繰り広げられました。2年後の次回大会は、いよいよ関西での開催です。世界各国からの参加者による多様な交流や、スポーツツーリズムを通じた地域活性化等、多くの

効果が期待できます。

大会開催に向け、スマートフォンを活用して気軽に身体を動かせる「関西元気ウォーキングイベント」の実施や、誰でも参加できる生涯スポーツ大会「関西マスターズゲームズ2025」の開催などを通じて、引き続き、生涯スポーツの機運醸成に取り組んでまいります。

（広域観光・文化の振興）

第4は、広域観光・文化の振興です。

台湾での「ワールドマスターズゲームズ2025」の開会式に合わせ、現地で台北市政府や現地旅行関係団体等を招いた「KANSAI観光プロモーション」を実施し、関西各地の魅力をPRするとともに、ツアーの造成などについて、台湾の関係者に協力を呼びかけました。

「ワールドマスターズゲームズ2027関西」には、台湾からのリピーターも多くなると予想され、試合会場周辺などでの観光消費が期待できることから、今回の訪問で構築したネットワークを活用し、今後も継続的な情報発信に努めてまいります。

また、8月には、大阪・関西万博の夢洲会場において、関西の伝統芸能の実演等による文化発信イベント「KANSAI感祭」を開催するなど、関西の魅力を国内外へ幅広くPRし、誘客につなげてまいります。

（広域環境保全の推進）

第5は、広域環境保全の推進です。

今年度は、広域環境保全分野においても万博を切り口とした取組を進めています。

「関西脱炭素アクション」の統一ポスターでは、大阪・関西万博における脱炭素の行動変容の取組である「EXPOグリーンチャレンジ」への参加を促すとともに、万博を契機とした取組が加速するよう呼びかけを行ってまいります。

加えて、万博会場では、3R及びファッションロス削減の意識向上を図るため、「アップサイクル商品の展示販売会やリメイクファッションショー」を10月頃に実施する予定です。

また、人材育成の取組に関しては、今年度も関西の皆様に向けて「学習船『うみのこ』親子体験航海」と「京都府自然体験教室」を実施し、環境保全意識の向上を図ってまいります。

(広域自治の推進)

第6は、広域自治の推進です。

令和7年1月24日の第217回国会での施政方針演説において、石破内閣総理大臣から、都道府県域を越えた広域連携の新たな枠組みである「広域リージョン連携」を強力に推進し、自治体同士の広域連携を抜本的に強化することが示されました。

このことを踏まえ、「広域リージョン連携」に係る議論が具体化されるに当たり、5月12日に総務副大臣に対して提言を行い、広域行政ブロック単位の広域連合が担う役割の法制化や、広域産業振興等について、要望してまいりました。

また、設立から15年目となる関西広域連合は、広域的な行政課題に取り組み、着実に成果を上げてきた一方で、広域連合を取り巻く状況が大きく変化していることから、新たな広域自治・行政に係る研究会を設置し、関西広域連合のあるべき姿、担うべき役割等について、改めて検討を深めてまいります。

(広域的な流域対策)

第7は、広域的な流域対策です。

「いのち育む“水”のつながりプロジェクト」では、琵琶湖・淀川流域内での様々な主体による連携を促進するべく、万博開幕までのカウントダウンと連動した清掃活動やシンポジウムなどを開催してきました。

このプロジェクトの集大成として、7月30日から8月3日にかけて、関西パビリオンの多目的エリアにおいて、「いのち育む“水”のつながりWEEK」を開催します。

環境保全に取り組む団体や高校生・大学生などにご参加いただき、連携を深め、地域や分野を超えた人のつながりを形成します。また、国内外から来場される方々に、様々な水のつながりを感じていただくことで、琵琶湖・淀川流域はもとより、他の流域においても、連携の機運が醸成されるきっかけとしてまいります。

(広域計画等の推進)

第8は、広域計画等の推進です。

現行の広域計画は、今年度で計画期間が満了することから、次期計画の策定を進めており、5月には広域計画等推進委員会を開催し、有識者の皆様から様々なご意見をいただいたところです。

計画では、本格的な人口減少・少子高齢化による影響や東京一極集中など、関西が直面している課題への対応を念頭に、新たに5つの力、「防災力」「産業力」「文化力」「環境力」「自治力」の向上を掲げます。広域事務及び政策の企画調整の推進や、分権型社会の実現に向け、広域連合議会をはじめ、広域計画等推進委員会、経済界等から幅広くご意見をいただきながら、計画策定を進めてまいります。

(広域インフラの整備促進)

第9は、広域インフラの整備促進です。

北陸新幹線は、関西に大きな経済効果をもたらすとともに、大規模災害発生時におけるリダンダンシーの確保に寄与するなど、国土強靱化にも必要不可欠なインフラです。

5月12日には、北陸新幹線建設促進同盟会主催の建設促進大会に参加するとともに、政府与党及び関係省庁に対し、新大阪までの早期全線開業について、強く要請をしてまいりました。

8月26日には、関西経済連合会等と共にシンポジウムの開催を計画しており、関西一丸となって機運を盛り上げながら、一日も早い全線開業を目指し、整備促進活動を展開してまいります。

(女性活躍の推進)

第10は、女性活躍の推進です。

「働きたい・働く女性が最も活躍できる地域・関西」の実現に向け、女性活躍推進の機運を醸成し、理解を促進するために、大阪・関西万博の「平和と人権」テーマウィーク期間中の8月6日に、「女性活躍推進 大関西会議」を開催します。会議では、写真家の織作峰子さんらによる講演や、私自身も参加するトークセッションを通じて、来場者自身が考えるきっかけを創出することで、関西における女性活躍を一層後押ししてまいります。

(広域連携による行財政改革の推進)

第11は、広域連携による行財政改革の推進です。

今年度から、新たな企画調整事務として奈良県が担当しており、「広域での処理が効率的かつ効果的となる新たな事務の検討」や、関西広域連合が実施する「既存の事務、事業の見直し」に取り組みます。

構成府縣市や本部事務局等を対象に、広域行財政改革に資する新たな事務等に関するアンケート調査を実施するなど、具体に取り組む項目や実施体制等について、今後検討してまいります。また、関西広域連合の簡素で

効率的な運営のために、事務の合理化や事業のスクラップ・アンド・ビルドも積極的に推進してまいります。

（提出議案の説明）

これより、提出した議案について説明します。

第9号議案「監査委員の選任について同意を求める件」です。現在、辞職により、広域連合議会選出の監査委員1名が欠員となっていることから、監査委員の選任について同意を求めるものです。

（おわりに）

以上で提出議案の説明といたします。議員の皆様におかれましては、よろしくご審議をお願いします。